

平城宮跡

特別史跡、世界遺産「古都奈良の文化財」構成資産、都市の貴重なオープンスペースとして、歴史的・自然的環境を活かした観光レクリエーション拠点となっている地区

整備のコンセプト:

歴史と景色を楽しむ空間づくり

◆植栽景観の現状の課題

- 古代都城遺跡にふさわしい景観形成に資する植栽景観の整備と維持管理。
- 埋蔵文化財の確実な保存を前提とした植栽整備。
- 平城宮跡歴史公園各ゾーンの利用特性や演出方針に応じた植栽の配置。

課題解決への主な対応

- 外周緑地の保全、修景緑地の配置等によるゾーン毎の特徴的な景観の形成
- 樹林地、草地、湿地等の自然的環境の保全と創出
- 植栽整備における遺構の保護や修景上の効果を勘案した適切な盛土の実施
- 植栽場所や土壌環境、利用形態や演出方針を考慮した樹種の選定と適正な植栽管理

【今後の連携方策】 平城宮跡周辺一帯について引き続き景観保全行政の連携を図りながら、関係機関・地域との協働による植栽整備のあり方について協議・調整を行う。

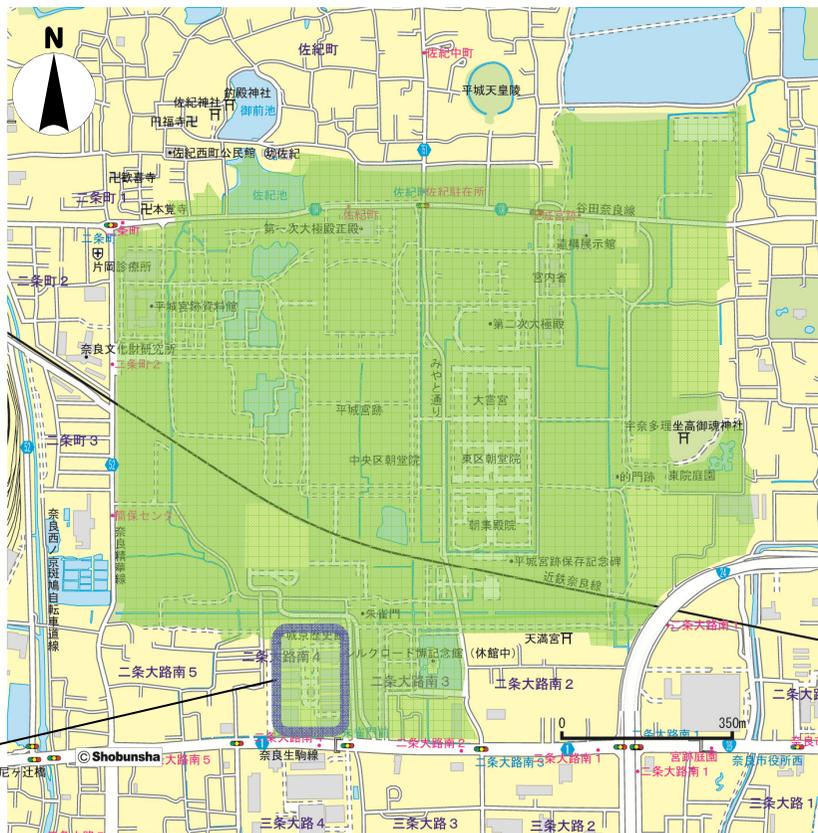
◆エリアの特徴的な景観



ヨシ原と第一次大極殿



第一次大極殿から若草山方面をのぞむ



第二次大極殿跡 基壇表示



第二次大極殿跡から第一次大極殿、生駒山をのぞむ



東院庭園中央建物と宇奈多理神社



築山石組と社叢林

□平城宮跡歴史公園朱雀大路西側地区

短期 平城宮跡歴史公園整備区域(朱雀大路西側地区)において、万葉植物を主体とする植栽により、もてなしの景観演出を図る

□古都法買入地

景観に配慮した県有地の管理のもと、草刈りおよび雑草の除去を行い、名所としての魅力向上を図る

■平城宮跡歴史公園(約132ha)